様式第２号の１－①【⑴実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第２号の１－②を用いること。

学校名	国士舘大学
設置者名	学校法人　国士舘

１．「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学共通科目	学部等共通科目	専門科目	合計		
政経学部	政治行政学科	夜・通信	4		22	26	13	
	経済学科	夜・通信			16	20	13	
体育学部	体育学科	夜・通信		4	27	35	13	
	武道学科	夜・通信			17	25	13	
	スポーツ医科学科	夜・通信			26	34	13	
	こどもスポーツ教育学科	夜・通信			22	30	13	
理工学部	理工学科	夜・通信			70	74	13	
法学部	法律学科	夜・通信		4	28	36	13	
	現代ビジネス法学科	夜・通信			34	42	13	
文学部	教育学科	夜・通信		20	32	56	13	
	史学地理学科	夜・通信			26	50	13	
	文学科	夜・通信			8	32	13	
２１世紀アジア学部	２１世紀アジア学科	夜・通信			37	41	13	
経営学部	経営学科	夜・通信			20	24	13	
（備考）								

２．「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

ホームページ https://www.kokushikan.ac.jp/campus_life/learning_support/course.html

３．要件を満たすことが困難である学部等

学部等名　　該当なし
（困難である理由）

様式第２号の２－①【⑵-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第２号の２－②を用いること。

学校名	国士舘大学
設置者名	学校法人　国士舘

１．理事（役員）名簿の公表方法

ホームページ https://www.kokushikan.ac.jp/disclosure/information/organization/officer.html

２．学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	前職：公安系公務員（役員） 現職：民間企業（顧問）	H29.6.1 ～ R2.5.31	理事業務全般
非常勤	前職：民間製薬会社（役員）	H29.6.1 ～ R2.5.31	理事業務全般
非常勤	前職：民間系金融機関 （役員）	H30.10.1 ～ R2.5.31	理事業務全般
（備考）			

様式第２号の３【⑶厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	国士舘大学
設置者名	学校法人　国士舘

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

１．授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。
（授業計画書の作成・公表に係る取組の概要） 本学のシラバスでは、項目として「授業の概要・ねらい」「到達目標」「教科書と準備するもの」「参考書」「評価の基準」「具体的評価方法」等を設け、また、授業計画として各回に「内容」「授業時間外における学修（予習・復習等）」「授業実施特記」の項目を設け、それぞれ明示している。シラバスの作成に当たっては、教務課で「シラバス作成ガイド」を教員に配付し、記入すべき内容を具体的に説明している。11 月上旬に次年度の授業科目について作成依頼を各担当教員に行い、3 月下旬から次年度開講科目について大学ホームページ上で公開している。
授業計画書の公表方法　https://kaedei.kokushikan.ac.jp/Syllabus/Top.aspx
２．学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。
（授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要） 単位認定基準については、学部では学則第 50 条に「各授業科目の試験に合格した者には、当該科目所定の単位を与える。ただし、各授業科目について出席すべき時間数（試験時間数を含む。）の３分の２以上の出席がなければならない」と定めている。 各授業科目の単位認定に当たっては、シラバスに「評価の基準」「具体的評価方法」「到達目標」を記述し、基準を明確にすることで、成績評価の客観性、厳格性を担保している。そのうえで、基準に則り厳正に審査した上で単位認定を行っている。 また、在学期間を通じた総合的な学修成果は、提出された卒業論文等の研究成果をもとに、総合的評価を行っている。

３．成績評価において、ＧＰＡ等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。	
（客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要） 本学では、学業成績を総合的に判断する指標として GPA(Grade Point Average)を導入している。GP(Grade Point)は各科目の評点が 100 から 90 点を 4.0、89 から 80 点を 3.0、79 から 70 点を 2.0、69 から 60 点を 1.0、59 点以下を 0 と換算している。 GPA は、先ほどの GP に各科目の単位数を乗じ、その合計を履修科目の総単位数で割って算出する。なお、算出された数値の小数点以下第三位を四捨五入とする。ただし、成績評価が「認定」の科目（編転入学した際の単位認定科目等）、卒業要件の対象とならない科目（教職科目や随意科目など）は、GPA の対象外としている。 GPA の利用については、学修成果を自己評価でき、卒業所要単位の把握、主体的な学修の成果を上げることを目的としている。履修指導や学修指導に資するほか、留学、奨学金対象者の選考の判定基礎資料として活用している。また、「GPA に関する取扱要領」では、単年度 GPA が 3.5 以上の者に対し年間学業成績優秀者として表彰し、単年度 GPA が 1.0 未満の者は修学指導を実施し、単年度 GPA が 2 年連続 0.5 未満、かつ総 GPA が 0.5 未満で改善が見込まれないと判断した場合は退学勧告を行うなどと定め、各学部で実施している。	
客観的な指標の 算出方法の公表方法	・ホームページ https://www.kokushikan.ac.jp/campus_life/learning_support/course.html ・学部便覧 新入生ガイダンス時に配付
４．卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。	
（卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要） 卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）については、大学全体では建学の精神や教育理念、教育指針を踏まえて、また学部、研究科においてはそれぞれの教育研究上の目的を踏まえて、その上で知識、技能、態度といった点で「何ができるようになるか」という学修成果に重点を置いて定め、大学ホームページ上に公開している。 卒業認定については、ディプロマ・ポリシーに加えて、所定の課程を経て所定の単位を修め、かつ各学部ならびに各学科等が指定する卒業要件を満たした学生に対し、学部・学科が求める次の資質・能力を有しているとして卒業を認定し、学位を授与している。	
卒業の認定に関する 方針の公表方法	ホームページ https://www.kokushikan.ac.jp/information/policy/

様式第２号の４－①【⑷財務・経営情報の公表（大学・短期大学・高等専門学校）】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第２号の４－②を用いること。

学校名	国士舘大学
設置者名	学校法人　国士舘

１．財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	ホームページ https://www.kokushikan.ac.jp/disclosure/financial/financial_reports/
収支計算書又は損益計算書	ホームページ https://www.kokushikan.ac.jp/disclosure/financial/financial_reports/
財産目録	ホームページ https://www.kokushikan.ac.jp/disclosure/financial/financial_reports/
事業報告書	ホームページ https://www.kokushikan.ac.jp/disclosure/financial/business_reports/
監事による監査報告（書）	ホームページ https://www.kokushikan.ac.jp/disclosure/financial/financial_reports/

２．事業計画（任意記載事項）

単年度計画（名称：2019 年度　事業計画書　　対象年度：2019 年度　）
公表方法：ホームページ https://www.kokushikan.ac.jp/disclosure/financial/business_reports/
中長期計画（名称：学校法人国士舘第２次中長期事業計画―2020-2024―対象年度：2020 年度～2024 年度）
公表方法：ホームページ https://www.kokushikan.ac.jp/disclosure/midterm_plan/goal_plan.html

３．教育活動に係る情報

（１）自己点検・評価の結果

公表方法：ホームページ https://www.kokushikan.ac.jp/disclosure/financial/self_inspection/

（２）認証評価の結果（任意記載事項）

公表方法：ホームページ https://www.kokushikan.ac.jp/disclosure/financial/accreditation/

（３）学校教育法施行規則第 172 条の２第１項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名　政経学部
教育研究上の目的（公表方法：ホームページ https://www.kokushikan.ac.jp/faculty/PSE/about/policy.html）
（概要） 政経学部の基本的教育目標は、人間性と専門性をはぐくむ人材の養成である。 この目標達成のため、本学部では、政治、経済分野の専門性だけに偏らない、体力、気力、人間力、学際的知力、礼節等バランスのとれた総合力を持つ人材養成を教育の基本方針としている。深い人間力と強い精神力、自信に満ち溢れた威風堂々とした態度、幅の広い国際的視野を持ち、時代に即応した独創性ある柔軟な応用力を発揮できる実践型の政治、経済分野を融合した学際的専門性を持った真面目に懸命に働く社会人の養成を目的としている。それに加えて、仕事上の問題を発見しそれを解決する能力、企業人としてチームをまとめる能力、社会人としての常識ある人間性をも持ち合わせた人間養成することに全力を注ぐ。 なお、学科ごとに掲げる詳細は、ホームページ上に記載しています。
卒業の認定に関する方針（公表方法：ホームページ https://www.kokushikan.ac.jp/faculty/PSE/about/policy.html　）
（概要） 政経学部は、大学の卒業認定の方針に加えて、所定の単位を修め、必修科目履修等の条件を満たすことで、学科が求める次の資質・能力を有しているとして卒業を認定し、政治行政学科では学士（政治学）、経済学科では学士（経済学）の学位を授与します。 なお、学科ごとに掲げる詳細は、ホームページ上に記載しています。
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：ホームページ https://www.kokushikan.ac.jp/faculty/PSE/about/policy.html　）
（概要） 政経学部は、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）で掲げる能力や態度を身に付けるために教育課程を編成し、それらの系統的な履修によって教育目的を達成します。 なお、教育内容、教育方法、学修成果の評価については、学科別にホームページ上に記載しています。
入学者の受入れに関する方針（公表方法：ホームページ https://www.kokushikan.ac.jp/faculty/PSE/about/policy.html　）
（概要） 政経学部は、激動する現代社会において、人間性に富み、政治、経済分野の学際的知識を活用できる力を備え、トップマネジメントおよびミドルマネジメントの中心的役割を担う人材になりたいとの強い意欲を持つ学生を受け入れます。 また、このような入学者を適正に判定するために、政治行政学科・経済学科のそれぞれにおいて、学科ごとに掲げる観点から、多様な方法による入学者選抜を実施します。 なお、学科ごとに掲げる詳細については、ホームページ上に記載しています。

学部等名　体育学部
教育研究上の目的（公表方法：ホームページ https://www.kokushikan.ac.jp/faculty/PE/about/policy.html　）
（概要） 　体育・スポーツ・武道の学芸を学び、より広い専門知識や高い技能を修得させ、体育・スポーツ・武道文化の発展と学術の研究活動推進につとめ、豊かな心身の育成と錬磨をはかる文武両道教育を進める。また、社会の変化に的確に対応し、健康で豊かな生活環境を阻害するスポーツ障害や疾病をはじめ、各種の事故・災害に対処する高度な救急医療体制の充実・発展に寄与し、人間の幸福や生活の基本である健康・体力の保持増進を推進する役割を担い、健康で明るく豊かな社会の創造者として活躍できる人材や国際社会に貢献できる人材の育成をはかる。 　なお、学科ごとに掲げる詳細については、ホームページ上に記載しています。
卒業の認定に関する方針（公表方法：ホームページ https://www.kokushikan.ac.jp/faculty/PE/about/policy.html　）
（概要） 　体育学部は、大学の卒業認定の方針に加えて、体育学の素養を備え、所定の課程を経て所定の単位を修め、必修科目履修等の条件を満たすことで、学部および学科が求める次の資質・能力を有しているとして、卒業を認定し、体育学科およびこどもスポーツ教育学科では学士（体育学）、武道学科では学士（武道学）、スポーツ医科学科では学士（スポーツ医科学）の学位を授与します。 　なお、学科ごとに掲げる詳細については、ホームページ上に記載しています。
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：ホームページ https://www.kokushikan.ac.jp/faculty/PE/about/policy.html　）
（概要） 　体育学部は、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）で掲げる能力や態度を身に付けるために教育課程を編成し、それらの系統的な履修によって教育目的を達成します。 　なお、教育内容、教育方法、学修成果の評価については、学科別にホームページ上に記載しています。
入学者の受入れに関する方針（公表方法：ホームページ https://www.kokushikan.ac.jp/faculty/PE/about/policy.html　）
（概要） 　体育学部では、将来、スポーツや教育、さらには救急医療の分野に進みたいと願う情熱と協調性に富んだ学生を受け入れます。 　また、このような入学者を適正に判定するために、体育学科・武道学科・スポーツ医科学科・こどもスポーツ教育学科のそれぞれにおいて、学科ごとに掲げる観点から、多様な方法による入学者選抜を実施します。なお、一般入試では、筆記試験に加え基本的運動技能についての実技試験（スポーツ医科学科は運動能力証明書の審査）を実施します。 　なお、学科ごとに掲げる詳細については、ホームページ上に記載しています。

学部等名　理工学部
教育研究上の目的（公表方法：ホームページ https://www.kokushikan.ac.jp/faculty/SE/about/policy.html　）
（概要） 　地球規模で起こっている環境問題、外国に例を見ない速さで進行している少子高齢化、科学技術立国日本の基本であるものづくりが抱える問題点等の深刻な社会問題をふまえて、理工学という広大な分野を従来のような狭い専門分野にとらわれず、幅広い教養と知識に裏付けられた視野の広さと大局的な判断力を身につけさせる教育を目的とする。理工学基礎知識を十分理解し、広い視野と柔軟な思考力、大局的な判断力、積極的に問題を発見し、解決のための方策を考える能力、それを周囲の人に理解してもらえる表現力、周囲の人々とのコミュニケーションを取りながら実行する能力、職業人としての倫理観を備えた人材の育成に努める。 　以上の教育目標を達成するために理工学科の中に 6 学系を設けており、掲げる詳細は、ホームページ上に記載しています。
卒業の認定に関する方針（公表方法：ホームページ https://www.kokushikan.ac.jp/faculty/SE/about/policy.html　）
（概要） 　理工学部は、大学の卒業認定の方針に加えて、所定の課程を経て所定の単位を修め、かつ理工学部ならびに各学系が指定する卒業要件を満たした学生に対し、学系が求める次の資質・能力を有しているとして卒業を認定し、機械工学系、電子情報学系、建築学系、まちづくり学系、人間情報学系では学士(工学)、基礎理学系では学士(理学)の学位を授与します。 　なお、学系ごとに掲げる詳細については、ホームページ上に記載しています。
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：ホームページ https://www.kokushikan.ac.jp/faculty/SE/about/policy.html　）
（概要） 　理工学部は、学生が卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）で掲げる能力や態度を身に付けるために教育課程を編成し、それらを系統的に履修することによって教育目的を達成します。 　なお、教育内容、教育方法、学修成果の評価については、学系別にホームページ上に記載しています。
入学者の受入れに関する方針（公表方法：ホームページ https://www.kokushikan.ac.jp/faculty/SE/about/policy.html　）
（概要） 　理工学部では、理工学に強い興味を持ち、高等教育により知識と倫理観を身に付けて社会に貢献しようとする学生を受け入れます。 　理工学部は、希望する専門に応じた教育を機械工学系・電子情報学系・建築学系・まちづくり学系・人間情報学系・基礎理学系で行います。学系にまたがる教育をおこなうために、入学者を学科として適正に判定します。 　なお、掲げる詳細については、ホームページ上に記載しています。

学部等名　法学部
教育研究上の目的（公表方法：ホームページ https://www.kokushikan.ac.jp/faculty/Law/about/policy.html　）
（概要） 　法学部は、建学の精神に基づき、法学を通じて豊かな人間性を確立し、主体的に個人の徳性の修養に取り組ませ、国家・社会に貢献する人材を育成することを目指している。 　変わりゆく時代の要請に応えるために、学生が、公共の精神を養い、基礎知識および識見を身につけた健全な社会人、とりわけ専門の法知識およびリーガルマインド（法的思考力）を備えた職業人となるための教育を行う。 　なお、学科ごとに掲げる詳細については、ホームページ上に記載しています。
卒業の認定に関する方針（公表方法：ホームページ https://www.kokushikan.ac.jp/faculty/Law/about/policy.html　）
（概要） 　法学部は、大学の卒業認定の方針に加えて、法律学の素養を備え、所定の課程を経て所定の単位を修め、必修科目履修等の条件を満たすことが、学科が求める次の資質・能力を有していることとして卒業を認定し、学士(法学)の学位を授与します。 　なお、学科ごとに掲げる詳細については、ホームページ上に記載しています。
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：ホームページ https://www.kokushikan.ac.jp/faculty/Law/about/policy.html　）
（概要） 　法学部は、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）で掲げる能力や態度を身に付けるために教育課程を編成し、それらの系統的な履修によって教育目的を達成します。 　なお、教育内容、教育方法、学修成果の評価については、学科別にホームページ上に記載しています。
入学者の受入れに関する方針（公表方法：ホームページ https://www.kokushikan.ac.jp/faculty/Law/about/policy.html　）
（概要） 　法学部では、法律学を通じて豊かな人間性を確立し、主体的に個人の徳性の修養に取り組むとともに、法律知識をもって国や社会に貢献することを目指す学生を受け入れます。 　また、このような入学者を適正に判定するために、法律学科・現代ビジネス法学科のそれぞれにおいて、学科ごとに掲げる観点から、多様な方法による入学者選抜を実施します。 　なお、学科ごとに掲げる詳細については、ホームページ上に記載しています。

学部等名　文学部
教育研究上の目的（公表方法：ホームページ https://www.kokushikan.ac.jp/faculty/Letters/about/policy.html　）
（概要） 　文学部の理念と目的は、「人文科学を中心に深遠な学術を教授研究し、豊かな教養と高潔な人格を養い、文化の創造力をつけ、社会福祉の増進や国際社会の進展に寄与できる人材を養成する」ことにある。これは単に専門的な知識や技術の伝授にとどまることなく、教養科目を重視する大学の伝統を踏まえて「心の教育」と「人間形成」を根幹として「人を育成する」ものである。その理念・目的を達成するために学部内に「教育学科」・「史学地理学科」・「文学科」の 3 学科を置く。「教育学科」には教育学コース、初等教育コースの 2 コースを、「史学地理学科」には考古・日本史学コース、地理・環境コースの 2 コースを、「文学科」には日本文学・文化コースの 1 コースを置いている。学科・コース間でそれぞれ有機的・発展的に広く基礎を学び、深く専門領域を極め、現代社会に寄与する徳と叡智を涵養できるよう、綿密なカリキュラムを編成している。 　なお、学科ごとに掲げる詳細については、ホームページ上に記載しています。
卒業の認定に関する方針（公表方法：ホームページ https://www.kokushikan.ac.jp/faculty/Letters/about/policy.html　）
（概要） 　文学部では、大学の卒業認定の方針に加えて、教育学、歴史学および地理学、文学の素養を備え、所定の課程を経て所定の単位を修め、必修科目履修等の条件を満たすことで、学科が求める次の資質・能力を有しているとして卒業を認定し、学士（文学）の学位を授与します。 　なお、学科ごとに掲げる詳細については、ホームページ上に記載しています。
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：ホームページ https://www.kokushikan.ac.jp/faculty/Letters/about/policy.html　）
（概要） 　文学部は、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）で掲げる能力や態度を身に付けるために教育課程を編成し、それらの系統的な履修によって教育目的を達成します。 　なお、教育内容、教育方法、学修成果の評価については、学科別にホームページ上に記載しています。
入学者の受入れに関する方針（公表方法：ホームページ https://www.kokushikan.ac.jp/faculty/Letters/about/policy.html　）
（概要） 　文学部では、教育学、歴史学および地理学、文学と関連諸科学の知識・技能を習得し、それを基礎とする思考力、判断力と表現力を身に付け、さらに主体性を持って広く社会に貢献することを目指す学生を受け入れます。 　また、このような入学者を適正に判定するために、教育学科・史学地理学科・文学科のそれぞれにおいて、学科ごとに掲げる観点から、多様な方法による入学者選抜を実施します。 　なお、学科ごとに掲げる詳細については、ホームページ上に記載しています。

学部等名　21 世紀アジア学部
教育研究上の目的（公表方法：ホームページ https://www.kokushikan.ac.jp/faculty/21_Asia/about/policy.html　）
（概要） 日本を含むアジア地域は、21 世紀において多様な姿で急速に発展しており、世界のなかでさらに重要な地位を占めつつある。その結果、経済・ビジネス関係を軸にわが国と他のアジア諸国との連関性と相互依存関係は一層の深まりを見せ、人的、文化的交流の機会もますます高まっている。こうした状況にともなって、日本についてはもとよりアジアの多様性と共通性を深く理解し、アジアと世界につながる総合的なコミュニケーション能力をもち、かつ実践的な専門知識を習得して、広くアジアや世界に視野を広げて活躍できる人材の育成が社会の要請となっている。 21 世紀アジア学部は、そのようなアジアのダイナミックな変動と社会的ニーズの高まりに対応し、学部教育における適切な国際化環境を確保しつつ、望まれる人材の育成、およびアジア地域の更なる発展と相互理解の促進に資する教育研究の実践を目指す。このため特に、海外語学研修や海外留学、留学生のための日本研修、インターンシップ、ボランティア活動など単位が認定される学外での体験型学習の機会を拡充するとともに、アジアのビジネス分野での活躍、交流活動、およびより専門的な探求など、将来の進路へのガイドラインとしての専門コースを設置し指導する。
卒業の認定に関する方針（公表方法：ホームページ https://www.kokushikan.ac.jp/faculty/21_Asia/about/policy.html　）
（概要） 21 世紀アジア学部は、大学の卒業認定の方針に加えて、21 世紀アジア学の素養を備え、所定の課程を経て所定の単位を修め、必修科目履修等の条件を満たすことで、学科が求める次の資質・能力を有しているとして、卒業を認定し、学士（アジア学）の学位を授与します。 なお、学科ごとに掲げる詳細については、ホームページ上に記載しています。
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：ホームページ https://www.kokushikan.ac.jp/faculty/21_Asia/about/policy.html　）
（概要） 21 世紀アジア学部は、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）で掲げる能力や態度を身に付けるために教育課程を編成し、それらの系統的な履修によって教育目的を達成します。 なお、教育内容、教育方法、学修成果の評価については、学科別にホームページ上に記載しています。
入学者の受入れに関する方針（公表方法：ホームページ https://www.kokushikan.ac.jp/faculty/21_Asia/about/policy.html　）
（概要） 21 世紀アジア学部では、世界で活躍することを目指して、自らを向上させようとする強い意志を持つ学生を受け入れます。 また、このような入学者を適正に判定するために、21 世紀アジア学科において、次に掲げる観点から、多様な方法による入学者選抜を実施します。 なお、掲げる詳細については、ホームページ上に記載しています。

学部等名　経営学部
教育研究上の目的（公表方法：ホームページ https://www.kokushikan.ac.jp/faculty/BA/about/policy.html　）
（概要） 経営学部の基本的教育目標は、21 世紀の「知識基盤社会」において絶えず変化する企業環境の中で、仮説と検証を繰り返し行う実践的な科目によって「ビジネス人基礎力」の習得を目指すとともに、ともすれば失われがちになってきた日本人の勤勉・利他の精神を涵養するための経営学教育を行うことである。 なお、掲げる詳細は、ホームページ上に記載しています。
卒業の認定に関する方針（公表方法：ホームページ https://www.kokushikan.ac.jp/faculty/BA/about/policy.html　）
（概要） 経営学部では、大学の卒業認定の方針に加えて、「ビジネス人基礎力」（人間基礎力、社会人基礎力、経営学・会計学の専門的知識）を備え、所定の単位を修得し、必修科目履修等の条件を満たすことで、学科が求める次の資質・能力を有しているとして、卒業を認定し、学士(経営学)の学位を授与します。 なお、学科ごとに掲げる詳細については、ホームページ上に記載しています。
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：ホームページ https://www.kokushikan.ac.jp/faculty/BA/about/policy.html　）
（概要） 経営学部は、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）で掲げる能力や態度を身に付けるために教育課程を編成し、それらの系統的な履修によって教育目的を達成します。 なお、教育内容、教育方法、学修成果の評価については、学科別にホームページ上に記載しています。
入学者の受入れに関する方針（公表方法：ホームページ https://www.kokushikan.ac.jp/faculty/BA/about/policy.html　）
（概要） 経営学部では、企業や組織の行動に関心を持ち、これからの経済・社会・文化における諸問題の解決に取り組むことができるビジネス人としての志を持ち、人格の向上と形成を目指して真摯に学習する気概ある学生を受け入れます。 また、このような入学者を適正に判定するために、経営学科において、次に掲げる観点から、多様な方法による入学者選抜を実施します。 なお、掲げる詳細については、ホームページ上に記載しています。

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：ホームページ https://www.kokushikan.ac.jp/disclosure/information/organization/

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）

学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手その他	計
－	5 人	－					5 人
政経学部	－	29 人	9 人	8 人	0 人	0 人	46 人
体育学部	－	35 人	17 人	9 人	3 人	0 人	64 人
理工学部	－	29 人	13 人	4 人	0 人	0 人	46 人
法学部	－	29 人	3 人	4 人	0 人	0 人	36 人
文学部	－	34 人	15 人	6 人	0 人	0 人	55 人
21 世紀アジア学部	－	21 人	2 人	0 人	0 人	0 人	23 人
経営学部	－	11 人	5 人	2 人	1 人	0 人	19 人

b. 教員数（兼務者）

学長・副学長	学長・副学長以外の教員	計
0 人	692 人	692 人

各教員の有する学位及び業績（教員データベース等）	公表方法：ホームページ https://research-db.kokushikan.ac.jp/kouhp/KgApp

c. ＦＤ（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）

本学では全学的に FD 活動を推進しており、大学の活動方針の一つとして FD の積極的展開を「学校法人国士舘中長期事業計画」に明示し、FD 委員会を中心に取り組んでいる。
詳細は、ホームページのとおりです。
(https://www.kokushikan.ac.jp/information/effort/fd/)

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等

学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学定員	編入学者数
政経	535 人	583 人	108%	2,140 人	2,413 人	112%	－ 人	6 人
体育	540 人	584 人	108%	2,170 人	2,406 人	110%	15 人	1 人
理工	335 人	362 人	108%	1,325 人	1,429 人	107%	－ 人	0 人
法	400 人	428 人	107%	1,600 人	1,823 人	113%	－ 人	0 人
文	390 人	415 人	106%	1,560 人	1,739 人	111%	－ 人	0 人
21 世紀アジア	350 人	377 人	107%	1,435 人	1,600 人	111%	－ 人	0 人
経営	270 人	284 人	105%	1,080 人	1,236 人	114%	－ 人	0 人
合計	2,820 人	3,033 人	107%	11,310 人	12,646 人	111%	15 人	7 人

（備考）

b. 卒業者数、進学者数、就職者数

学部等名	卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
政経学部	571 人 （100%）	16 人 （2.8%）	495 人 （86.7%）	60 人 （10.5%）
体育学部	568 人 （100%）	17 人 （3.0%）	481 人 （84.7%）	70 人 （12.3%）
理工学部	303 人 （100%）	15 人 （4.9%）	266 人 （87.8%）	22 人 （7.3%）
法学部	414 人 （100%）	8 人 （1.9%）	343 人 （82.9%）	63 人 （15.2%）
文学部	380 人 （100%）	15 人 （4.0%）	306 人 （80.5%）	59 人 （15.5%）
２１世紀アジア学部	391 人 （100%）	37 人 （9.5%）	283 人 （72.4%）	71 人 （18.1%）
経営学部	282 人 （100%）	2 人 （0.7%）	255 人 （90.4%）	25 人 （8.9%）
合計	2909 人 （100%）	110 人 （3.8%）	2429 人 （83.5%）	370 人 （12.7%）

（主な進学先・就職先）（任意記載事項）
（進学）
国士舘大学大学院、明治大学大学院、横浜国立大学大学院、早稲田大学大学院、立教大学大学院
（就職）
ＳＭＢＣ日興証券㈱、ＹＫＫ　ＡＰ㈱、キーコーヒー㈱、ラルフローレン㈱、岡三証券㈱、
㈱エービーシー商会、㈱キーエンス、㈱ソラシドエア、㈱みずほフィナンシャルグループ、
㈱りそな銀行、㈱山梨放送、三菱ＵＦＪモルガン・スタンレー証券（株）、住友林業㈱、
小田急電鉄㈱、積水ハウス（株）、大成建設㈱、東海東京フィナンシャル・ホールディングス㈱、
東急リバブル㈱、東京急行電鉄㈱、東日本旅客鉄道㈱、東武トップツアーズ㈱、
日本アイ・ビー・エム㈱、警視庁・皇宮警察ほか警察、東京消防庁ほか消防、公立私立学校教員

（備考）

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）

学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業者数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 （100%）	人 （　　%）	人 （　　%）	人 （　　%）	人 （　　%）
	人 （100%）	人 （　　%）	人 （　　%）	人 （　　%）	人 （　　%）
合計	人 （100%）	人 （　　%）	人 （　　%）	人 （　　%）	人 （　　%）

（備考）

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

（概要）
授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業計画については、本学のシラバスで明示している。項目として「授業の概要・ねらい」「到達目標」「教科書と準備するもの」「参考書」「評価の基準」「具体的評価方法」等を設け、また、授業計画として各回に「内容」「授業時間外における学修（予習・復習等）」「授業実施特記」の項目を設け、それぞれ明示している。シラバスの作成に当たっては、教務課で「シラバス作成ガイド」を教員に配付し、記入すべき内容を具体的に説明している。11 月上旬に次年度の授業科目について作成依頼を各担当教員に行い、3 月下旬から次年度開講科目について公開している。

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

（概要）
卒業認定については、ディプロマ・ポリシーに加えて、所定の課程を経て所定の単位を修め、かつ各学部ならびに各学科等が指定する卒業要件を満たした学生に対し、学部・学科が求める次の資質・能力を有しているとして卒業を認定し、学位を授与している。

学部名	学科名	卒業に必要となる単位数	ＧＰＡ制度の採用（任意記載事項）	履修単位の登録上限（任意記載事項）
政経	政治行政	124 単位	有	単位
	経済	124 単位	有	単位
体育	体育	124 単位	有	単位
	武道	124 単位	有	単位
	スポーツ医科	127 単位	有	単位
	こどもスポーツ教育	124 単位	有	単位
理工	理工	124 単位	有	単位
法	法律	124 単位	有	単位
	現代ビジネス法	124 単位	有	単位
文	教育	124 単位	有	単位
	史学地理	124 単位	有	単位
	文	124 単位	有	単位
２１世紀アジア	２１世紀アジア	124 単位	有	単位
経営	経営	124 単位	有	単位
ＧＰＡの活用状況（任意記載事項）		公表方法：		
学生の学修状況に係る参考情報（任意記載事項）		公表方法：		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：ホームページ
https://www.kokushikan.ac.jp/disclosure/information/campus/

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料（年間）	入学金	その他	備考（任意記載事項）
政経	政治行政経済	730,000 円	240,000 円	293,940 円	施設設備、教材、諸費
体育	体育	830,000 円	240,000 円	519,820 円	施設設備、教材、実験実習費
	武道	830,000 円	240,000 円	474,820 円	施設設備、教材、実験実習費
	スポーツ医科	870,000 円	240,000 円	609,000 円	施設設備、教材、実験実習費
	こどもスポーツ教育	860,000 円	240,000 円	544,820 円	施設設備、教材、実験実習費
理工	理工	954,000 円	240,000 円	411,940 円	施設設備、教材、実験実習費
法	法律	730,000 円	240,000 円	294,940 円	施設設備、教材、諸費
	現代ビジネス法（一般）	730,000 円	240,000 円	294,940 円	施設設備、教材、諸費
	現代ビジネス法（社会人）	420,000 円	240,000 円	249,940 円	施設設備、教材、諸費
文	教育学科初等教育コース	782,000 円	240,000 円	319,940 円	施設設備、教材、実験実習費
	史学地理学科地理・環境コース	782,000 円	240,000 円	314,940 円	施設設備、教材、実験実習費
	その他の学科等	782,000 円	240,000 円	294,940 円	施設設備、教材、諸費
21 世紀アジア	21 世紀アジア	782,000 円	240,000 円	296,940 円	施設設備、教材、諸費
経営	経営	730,000 円	240,000 円	293,940 円	施設設備、教材、諸費

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
（概要） 学部においては、学生にとって最も身近なゼミ担当教員、その他にも各学部の学生主任や学年担任など様々な教員が学修指導も含めて学生生活の支援に携わっている。加えて、すべての学部でオフィスアワーを開設し、修学指導を含む個別面談やカウンセリングを行っており、学生生活全般にわたって心的支援や生活相談を行っている。 さらに、世田谷キャンパスでは教務課に各学部の学生対応を担当する専任職員を配置し、町田キャンパスと多摩キャンパスでは 21 世紀アジア学部事務課と体育学部事務課にそれぞれ学生対応を担当する専任職員を配置して、学生生活の安定のための支援を行っている。
b. 進路選択に係る支援に関する取組
（概要） 入学時に、充実した大学生活を将来につなげるガイドブック『WorkingGear jr.』を配付し、大学生活や就職活動についてオリエンテーションを実施している。１年次のフレッシュマンゼミナール（必修科目）においても、さらに深めた内容を説明している。 また、３年次の夏季休業期間を利用した大学主催型インターンシップを実施し、企業や地方公共団体に学生を派遣している。事前事後の教育にも力をいれ、事前教育として、マナー研修等を実施し、終了後の成果発表会では、インターンシップを通して成長した点や目標への到達度、今後の課題について整理し、今後の職業選択繋がるよう指導している。さらに、業界や公務員の仕事内容について幅広く職業を理解できるよう採用担当者を招いて説明会を実施している。 低学年の早い段階から卒業後の進路を意識できるよう体系的にガイダンスや講座等を実施している。
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
（概要） 心的面での支援として、各キャンパスに「学生相談室」を設置し、専門のカウンセラーにより対人関係、修学上の問題等、その他学生生活において生じる様々な問題や悩み事に対する相談に応じ、専門的かつ適切な支援を行っている。 また、心身の健康面に修学上の配慮を要すると判断される学生に対しては、本人との面談を経て、学内関係部署や教職員に教育的配慮を依頼し、連携して支援を行うこともある。 学生・厚生課では、精神科医、カウンセラーとの定期的会議を実施し、問題を抱えた学生も充実した学生生活が過ごせるよう、情報を共有し、問題解決に向けた取り組みを行っている。 一方、身体面においては各キャンパスに「健康管理室」を設け、校医（本学教員）及び看護師資格を有する職員を配置し、病気や怪我への対応、健康相談、医療機関の紹介、また感染症予防のための注意喚起等を行い、健康的な学生生活を過ごすための支援体制を整えている。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：ホームページ https://www.kokushikan.ac.jp/information/effort/fd/ https://www.kokushikan.ac.jp/disclosure/research_info/